

国際会議から アジア太平洋鉄道会議 (Asia Pacific Rail 2018)

アジア太平洋鉄道会議 (Asia Pacific Rail 2018) は、香港で毎年開催されている鉄道に関する国際展示会で、今回で20周年を迎えます。展示ブースは鉄道事業者やメーカーなどを中心に80社程度と比較的小規模ですが、同フロアに設置された5箇所の講演会場において、日本からの4名を含む130名以上の招待講演者による講演が行われました。また、参加国のおよそ80%がアジア・中東圏であることから、車両、電気、施設、運輸のみならず、都市鉄道や高速鉄道の建設やそれともなう資金調達などもテーマとして取り上げられており、活発な議論がなされました。筆者は、「日本におけるレール溶接」について発表を行い(図1)、日本独自の溶接手法であるレールガス圧接を中心に日本のレール溶接技術について紹介しました。

会場となったHong Kong Convention and Exhibition



伊藤太初
軌道技術研究部
レールメンテナンス研究室
副主任研究員

Centreは、香港経済の中心地である香港島北部の灣仔(Wan Chai)地区に位置しており、MTR(地下鉄)、トラム、バス、フェリーなど、公共交通が発達した香港の中においてもよくアクセスしやすい場所でした。一方、会場はホテルやオフィスビルなどを併設した巨大な複合施設(図2)であったため、会場内で迷ってしまったことはここだけの話です。次回は2019年3月に開催されます。



図1 筆者の発表の様子



図2 会場の外観

正式名称：Asia Pacific Rail 2018
開催国：中国(香港)
期間：2018/03/20-21
主催：Terrapinn.Ltd
開催頻度：年1回
次回開催予定：2019年3月 香港
ホームページURL：<https://www.terrapinn.com/exhibition/asia-pacific-rail/index.stm>